

2016－5 月評価に係る変更点

国内雌牛評価に 3 回搾乳牛群 2 回搾乳混在型 AT 法の記録を追加

これまでの乳用牛群検定事業の運用規定では、3 回搾乳 AT 法は、同一牛群内の全搾乳牛が 3 回搾乳である必要がありましたが、3 回搾乳を行う雌牛の中には、泌乳後期に 2 回搾乳となる場合があります。そのような場合は、遺伝評価の記録として採用されませんでした。しかしながら、平成 28 年 3 月 11 日に開催された全国牛群検定推進会議においてパーラーシステムを利用した 3 回搾乳牛群について 3 回搾乳牛群 2 回搾乳牛混在型 AT 法が公式記録として承認されましたので、2016－5 月評価の国内雌牛評価に 3 回搾乳牛群 2 回搾乳混在型 AT 法の記録を追加いたします。